

地域に新たな経済圏を創出するため、創業者のサポートや空き店舗の活用事業を展開。

## Basic information

法人設立年月日	2021年2月22日
指定年月日	2022年10月31日
資本金等	資本金 1,000千円
株主・構成団体等 (出資割合)	(株)リトルクリエイティブセンター (94%)、(株)十六銀行 (5%)、市内企業等 (1%)
職員数	8名

### ■ 法人の紹介

新たな事業にチャレンジする人が活動しやすい土壌をつくるため、那加地区の商店街エリアを中心に、創業希望者へのサポートや、トライアルショップ、まちの案内所などを運営し、遊休不動産の活用によるエリアマネジメントを行います。

### ■ 活動エリア

各務原市民公園と学びの森、2つの都市公園を含めた那加地区の商店街周辺を中心とした周辺地域を活動エリアとしています。



## Project

### 1 エリアマネジメント事業

(収益事業)・非収益事業 / 公有地・民有地

#### ■ 遊休不動産の活用による新規出店支援

魅力的な複数の店舗がまちに出店することで、歩行者が増え、エリアの回遊性が高まります。空き店舗、空き家を活用して創業希望者の出店を促し、公園から商店街への人の流れをつくります。



### 2 空き店舗活用事業

(収益事業)・非収益事業 / 公有地・民有地

#### ■ まちの食堂兼案内所「OUR食堂」

公園から商店街へ。周辺を回遊するきっかけとなるまちの食堂を開業。旧精肉店をリノベーションし、食堂を開業(運営は親会社のリトルクリエイティブセンター)。地域の人やもの、ことを繋ぐ「まちの案内所」としても運営していきます。

いらっしやいませ!  
**OUR 食堂**



## Hottopic

### ■ まちがどんどんおもしろくなる 「KAKAMIGAHARAA to Z PROJECT」

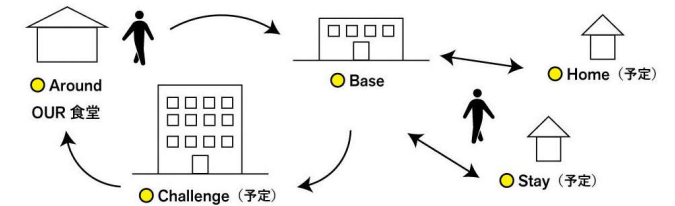
A からZ まで、まちに26 個のコンテンツをつくる、各務原市との協働事業です。那加商店街エリアで、施設や店舗などの各拠点にA からZ を頭文字とした役割を与え、まちに必要なコンテンツを増やしていきます。一つ一つのコンテンツのまちに対する存在意義を明確化し、点と点がつながる、エリアとしてのまちづくりを進めます。コンテンツ同士の関連性を見せることにより、まちの回遊性を高めることを狙いとしています。プロジェクトの1 号案件は「OUR食堂」。公園からその周辺に回遊するきっかけとなる拠点という意味を込めて「A=Around (周辺)」としました。

### 3 旧東亜町会館活用事業

(収益事業)・非収益事業 / 公有地・民有地

#### ■ 老朽化した公共施設を新たな賑わい創出拠点として活用

プロポーザルにて旧東亜町会館活用事業者に選定されました。地域の新たな賑わい創出と市民の暮らしの質を向上する施設としてR6 年度に開業予定。



<https://ofc.town/>